

令和 7 年度法人本部事業計画書

1. 事業運営の安定化

- 1) 介護給付および予防給付における利用者数を定数上限まで引き上げ、稼働率を最大化し、収益の確保を図る。このために、積極的な営業活動を行う。目標値は下段の通り。

(2025年)

事業所名	定 員	目標数	達成率
特別養護老人ホーム情和園	90名 ⇒	90名	100%
情和園ショートステイサービス	8名 ⇒	8名	100%
情和園デイサービスセンター	50名（運用40名）⇒	36名	90%
ハニカム青春塾	30名（運用22名）⇒	20名	90%
情和園デイサービスセンターハッピー	12名 ⇒	10名	90%
介護保険サービスセンター情和園	44件 ⇒	44件	100%

- 2) 食材費や消耗品の物価上昇に伴う経費削減および価格転嫁の可能性を検討する。

2. 高齢者を地域で支える体制の構築

- 1) 居宅介護支援事業を中心に、地域ニーズの把握を行い、既存サービスの継続と発展に努める。
- 2) 法人傘下の事業所全てで、独居高齢者の支援、孤独・孤立対策の推進、ヤングケアラーなど家族介護者への支援を強化する。

3. 介護予防の推進

- 1) 介護予防の取り組みの一環として、機能回復訓練を特にデイサービスで強化する。
- 2) 少子高齢化が進展し、現役世代が減少するとともに高齢者の大幅な増加が見込まれる中、生涯現役社会の実現に向け、高齢者が地域の中で生きがいや役割を持ち、積極的な社会への参加を促進する。

4. 介護テクノロジーの導入と業務効率化

- 1) 推進している介護ロボットやICT等のテクノロジーを活用し、業務の改善および更なる効率化を進める。
- 2) これにより、職員の業務負担軽減を図ると共に介護サービスの質向上を推進する。

5. 介護生産性向上推進委員会の活動継続

- 1) 昨年度設置した生産性向上推進委員会を中心に、介護生産性向上運動を継続する。
- 2) 諸課題の発見と解決を図り、介護現場の革新を目指す。

6. 外国人介護人材の受け入れ環境整備

- 1) 外国人介護人材の受け入れを推進し、居住環境等を整備することにより働き手の安定確保を図る。
- 2) 監理団体と協働し、日本語教育を推進、特色ある職場作りを目指す。

7. ハード面の改善

- 1) 昨年度予算要求を行った「非常用自家発電・給水設備整備」を国庫補助を活用して施工し、安全対策を強化する。
- 2) その他、施設設備の改修・更新を着実かつスピーディーに進める。

8. 自然災害時の対応力強化

- 1) 策定済の業務継続計画（BCP）に基づき、必達義務となっている研修およびシミュレーションを実施する。
- 2) 業務継続計画の定期的な見直しを行い、災害時の対応力を向上させる。

基本理念～3つの視点

1) 創設理念

「肉親をおもうところをそのままに永遠に捧げん情和の園に」

2) 経営理念

- 1 全てのことに魂をこめた対応
- 2 規律と統制のとれた対応
- 3 厳正を旨とした姿勢
- 4 無限の精進
- 5 慈愛のこころ

3) 令和7年度運営理念

〔ほがらかに はつらつと〕

さあ今日も！ みんなが笑顔になる介護

理事会並びに評議員会の開催予定

愛泉会の経営主体たる理事会及び評議員会について、事業を計画的に推進し、よって民間社会福祉事業としての先駆性・独自性を発揮し、公平・公正な法人運営がなされるよう下記の予定を以て会議を開催する。但し、必要な場合は随時開催する。

- | | | | |
|----|------|-----|--------------------------|
| 1) | 令和7年 | 5月 | 第1回理事会（決算報告、次期理事・監事選任案等） |
| 2) | 〃 | 6月 | 第1回評議員会（決算報告、次期理事・監事の選任） |
| 3) | 〃 | 〃 | 第2回理事会（理事長選定） |
| 4) | 〃 | 9月 | 第3回理事会（財務状況報告） |
| 5) | 〃 | 12月 | 第4回理事会・第2回評議員会（補正予算） |
| 6) | 令和8年 | 3月 | 第5回理事会・第3回評議員会（新年度予算案等） |

監事監査の実施予定

関係法に準拠した事業運営を行うため法人機能を検証し、かつ地域ニーズを踏まえたサービス提供を確固とするため、次の通り監事による監査を実施する。
令和7年5月 決算監査

各事業所、及び委員会の事業計画書

別紙の通り。